



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月9日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	71,075	8.6	3,900	△4.3	5,303	10.6	4,230	26.9
2022年12月期第1四半期	65,420	—	4,076	△0.3	4,794	3.2	3,332	1.6

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 6,036百万円 (△32.0%) 2022年12月期第1四半期 8,878百万円 (△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	66.52	—
2022年12月期第1四半期	51.34	—

(注) 2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、2022年12月期第1四半期連結累計期間の売上高において、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	358,395	248,247	69.1
2022年12月期	369,056	244,760	66.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 247,789百万円 2022年12月期 244,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,000	4.3	16,000	24.6	17,000	24.6	10,000	23.5	157.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	68,468,569株	2022年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	4,877,887株	2022年12月期	4,877,747株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	63,590,746株	2022年12月期 1 Q	64,898,836株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間の期首より組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。このため、前年同期数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えて比較分析を行っております。

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和が進み、経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な為替変動等の影響が懸念され、また、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクが生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、全てのセグメントで前年同期を上回ったため、当第1四半期連結累計期間の売上高は71,075百万円となり、前年同期（65,420百万円）に比べ8.6%の増収となりました。

利益面では、売上原価率は、乳業事業、海外事業等で上昇したことにより前年同期に比べ1.1ポイント上昇しましたが、販売費及び一般管理費は、運送費及び保管費等が減少しました。その結果、営業利益は3,900百万円となり、前年同期（4,076百万円）に比べ175百万円の減益となりました。経常利益は、為替差益等により、5,303百万円となり、前年同期（4,794百万円）に比べ508百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,230百万円となり、前年同期（3,332百万円）に比べ897百万円の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円、%）

セグメント	売上高				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
健康・食品事業	9,159	9,454	295	3.2	104	△119	△224	—
乳業事業	14,040	14,285	245	1.7	△462	△539	△76	—
栄養菓子事業	13,733	14,208	474	3.5	1,359	1,622	262	19.3
食品原料事業	2,253	2,697	444	19.7	251	584	333	132.4
国内その他事業	12,994	13,647	653	5.0	192	592	400	207.8
海外事業	13,238	16,780	3,541	26.8	701	794	92	13.2
調整	—	—	—	—	1,928	965	△962	△49.9
合計	65,420	71,075	5,654	8.6	4,076	3,900	△175	△4.3

（注）調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<健康・食品事業>

売上面では、“DONBURI亭”等は前年同期を下回りましたが、“パピコ”“アーモンド効果”等が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,454百万円となり、前年同期（9,159百万円）に比べ3.2%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費の増加等により、営業損失は119百万円となり、前年同期（104百万円）に比べ224百万円の減益となりました。

<乳業事業>

売上面では、“牧場しぼり” “BifiXヨーグルト”等は前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス” “ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,285百万円となり、前年同期（14,040百万円）に比べ1.7%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業損失は539百万円となり、前年同期（営業損失462百万円）に比べ76百万円の減益となりました。

<栄養菓子事業>

売上面では、“プリッツ”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー” “カプリコ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,208百万円となり、前年同期（13,733百万円）に比べ3.5%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は1,622百万円となり、前年同期（1,359百万円）に比べ262百万円の増益となりました。

<食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」「澱粉」等が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,697百万円となり、前年同期（2,253百万円）に比べ19.7%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は584百万円となり、前年同期（251百万円）に比べ333百万円の増益となりました。

<国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,647百万円となり、前年同期（12,994百万円）に比べ5.0%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は592百万円となり、前年同期（192百万円）に比べ400百万円の増益となりました。

<海外事業>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,780百万円となり、前年同期（13,238百万円）に比べ26.8%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は794百万円となり、前年同期（701百万円）に比べ92百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は358,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,660百万円減少しました。流動資産は165,150百万円となり、13,017百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。固定資産は193,244百万円となり、2,356百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加等によるものであります。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は110,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,148百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払費用の減少等によるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は248,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,487百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益4,230百万円を獲得したこと及びその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は69.1%（前連結会計年度末比2.9ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期連結業績予想は、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,705	84,286
受取手形及び売掛金	45,372	36,999
有価証券	226	230
商品及び製品	17,861	20,520
仕掛品	891	1,118
原材料及び貯蔵品	14,093	14,110
その他	8,130	7,996
貸倒引当金	△113	△110
流動資産合計	178,168	165,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,225	40,633
機械装置及び運搬具（純額）	34,538	36,826
工具、器具及び備品（純額）	4,702	4,630
土地	15,984	16,033
リース資産（純額）	2,161	2,650
建設仮勘定	11,426	9,737
有形固定資産合計	110,038	110,511
無形固定資産		
ソフトウェア	4,401	4,144
ソフトウェア仮勘定	16,746	17,538
のれん	352	337
その他	181	174
無形固定資産合計	21,682	22,195
投資その他の資産		
投資有価証券	39,265	40,256
退職給付に係る資産	4,432	4,522
投資不動産（純額）	12,214	12,257
その他	3,295	3,541
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	59,168	60,537
固定資産合計	190,888	193,244
資産合計	369,056	358,395

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,430	29,810
未払費用	24,789	19,635
未払法人税等	2,562	1,858
返金負債	7,256	6,738
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	30,017
役員賞与引当金	73	73
その他	8,762	7,306
流動負債合計	79,875	95,440
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,023	—
退職給付に係る負債	1,350	1,357
繰延税金負債	6,633	6,614
その他	6,414	6,735
固定負債合計	44,421	14,707
負債合計	124,296	110,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	9,894
利益剰余金	217,184	218,871
自己株式	△13,806	△13,807
株主資本合計	221,046	222,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,945	11,431
繰延ヘッジ損益	△59	△82
為替換算調整勘定	11,756	13,157
退職給付に係る調整累計額	602	551
その他の包括利益累計額合計	23,245	25,057
非支配株主持分	468	457
純資産合計	244,760	248,247
負債純資産合計	369,056	358,395

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	65,420	71,075
売上原価	40,486	44,761
売上総利益	24,933	26,313
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	5,989	5,809
販売促進費	1,909	2,124
広告宣伝費	1,385	1,718
給料及び手当	4,328	4,579
退職給付費用	53	127
その他	7,190	8,052
販売費及び一般管理費合計	20,857	22,412
営業利益	4,076	3,900
営業外収益		
受取利息	91	170
受取配当金	24	37
為替差益	156	601
補助金収入	401	113
その他	677	722
営業外収益合計	1,351	1,645
営業外費用		
支払利息	16	17
固定資産廃棄損	244	0
債務保証損失引当金繰入額	120	—
その他	251	225
営業外費用合計	633	242
経常利益	4,794	5,303
特別利益		
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
子会社清算損	—	30
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	4,815	5,272
法人税、住民税及び事業税	1,549	1,390
法人税等調整額	△74	△352
法人税等合計	1,475	1,038
四半期純利益	3,339	4,233
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,332	4,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	687	485
繰延ヘッジ損益	310	△22
為替換算調整勘定	4,291	1,169
退職給付に係る調整額	△64	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	314	221
その他の包括利益合計	5,539	1,802
四半期包括利益	8,878	6,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,856	6,042
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	健康 ・食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	9,159	14,040	13,733	2,253	12,994	13,238	65,420	—	65,420
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,159	14,040	13,733	2,253	12,994	13,238	65,420	—	65,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	55	2,667	—	2,723	△2,723	—
計	9,159	14,040	13,733	2,309	15,662	13,238	68,144	△2,723	65,420
セグメント利益又は損 失(△)	104	△462	1,359	251	192	701	2,147	1,928	4,076

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,928百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額420百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,508百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	健康 ・食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	9,454	14,285	14,208	2,697	13,647	16,780	71,075	—	71,075
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,454	14,285	14,208	2,697	13,647	16,780	71,075	—	71,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	78	2,386	—	2,465	△2,465	—
計	9,454	14,285	14,208	2,776	16,034	16,780	73,540	△2,465	71,075
セグメント利益又は損 失(△)	△119	△539	1,622	584	592	794	2,934	965	3,900

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額965百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額510百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等455百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。なお、これらのセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

決算短信補足説明資料

-23年12月期 第1四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	65,420	71,075	5,654	8.6
営業利益	4,076	3,900	▲ 175	-4.3
経常利益	4,794	5,303	508	10.6
当期純利益	3,332	4,230	897	26.9

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期		23/12期	
	(1月-3月)	売上比(%)	(1月-3月)	売上比(%)
売上高	65,420	100.0	71,075	100.0
売上原価	40,486	61.9	44,761	63.0
売上総利益	24,933	38.1	26,313	37.0
運賃保管料	5,989	9.2	5,809	8.2
販売促進費	1,909	2.9	2,124	3.0
広告費	1,385	2.1	1,718	2.4
人件費・厚生費	6,987	10.7	7,437	10.5
経費・償却費	4,584	7.0	5,323	7.5
販売費及び一般管理費	20,857	31.9	22,412	31.5
営業利益	4,076	6.2	3,900	5.5

営業利益の増減要因	対22/12期 (1月-3月)	
	内	国内
①売上高増減による増減益	2,013	692
②原材料価格変動による増減益	▲ 1,938	▲ 1,897
③原価のその他変動による増減益※	623	1,783
④運賃保管料比率変動による増減益	697	190
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	▲ 382	▲ 256
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 1,189	▲ 780
合計	▲ 176	▲ 268

※販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

セグメント	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	9,159	9,454	295	3.2
乳業事業	14,040	14,285	245	1.7
栄養菓子事業	13,733	14,208	474	3.5
食品原料事業	2,253	2,697	444	19.7
国内その他事業	12,994	13,647	653	5.0
海外事業	13,238	16,780	3,541	26.8
合計	65,420	71,075	5,654	8.6

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

セグメント	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	104	▲ 119	▲ 224	-
乳業事業	▲ 462	▲ 539	▲ 76	-
栄養菓子事業	1,359	1,622	262	19.3
食品原料事業	251	584	333	132.4
国内その他事業	192	592	400	207.8
海外事業	701	794	92	13.2
調整	1,928	965	▲ 962	-49.9
合計	4,076	3,900	▲ 175	-4.3

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。
また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	319	309	▲ 10	-3.2
営業利益	17	29	11	63.4

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	27	38	11	41.8
営業利益	▲ 2	2	4	-

※22年12月期1Qの実績は、23年12月期1Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-3月)	23/12期 (1月-3月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	24	32	7	28.2
営業利益	6	1	▲ 5	-78.4

※米国については、連結ベースの数字です。